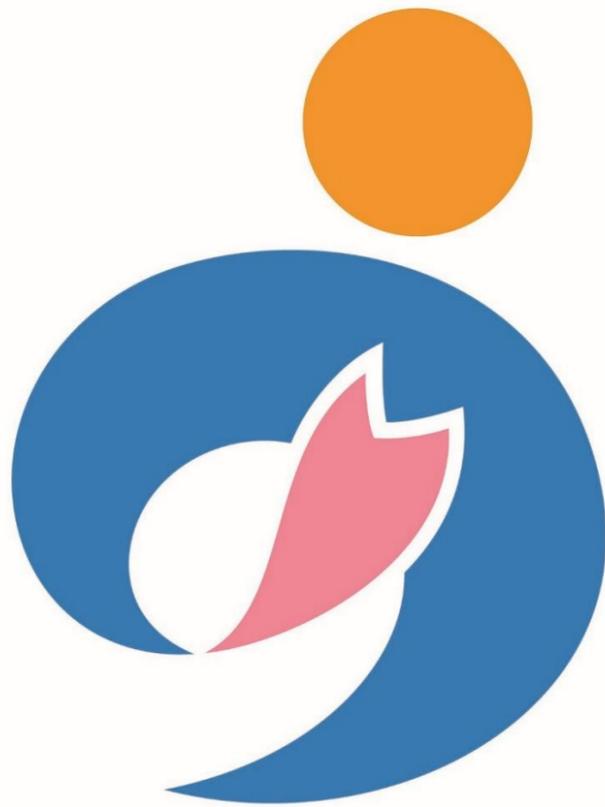


令和8年度 当初 予算事業説明書



総務・学校教育課



款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費	会計名	一般会計
事業名	1	教育委員会費							所属名	総務・学校教育課
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	教育長、教育委員					総合計画における位置づけ		
		意図 (対象をどうするか)	本町教育行政の運営、施策について協議し、南部町教育のより一層の充実が図られるようにする。					④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等		
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	教育委員の研修機会と情報交換の場を確保する。					名称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	南部町の学校教育・社会教育の充実と一層の推進を図るため、これらの教育課題に積極的に取り組む。研修会等に参加し、教育環境を取りまく状況変化を理解し、南部町の学校教育・社会教育推進の参考とする。					URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/331AC0000000162	
比較	前年度	本年度	差引	増減	非該当					
	2,825 千円	2,221 千円	△ 604 千円	△ 21.4 %						

【事業内容】

- 教育委員報酬
- 教育委員会交際費
- 研修会・大会への参加、教育行政先進地等の視察研修
- 教育委員活動に必要な経費
- 各種協議会等負担金 他

【本年度の計画】

単位:千円

細節	予算額	内容
委員報酬	1,428	教育長職務代行者 1人 32,000円/月×12月=384,000円 委員 3人 29,000円/月×12月=1,044,000円
報償費	71	点検評価委員謝金(1回) @2,700円×6人 巣箱コンクール入賞者記念品(図書カード) @2,000円×2=4,000円 視察・歓迎用町産品代 50,000円
普通旅費	220	(別途記載)
研修旅費	307	
交際費	80	香典他
消耗品費	39	全国町村教育長会研究大会資料代 5,000円 市町村教育委員会研究協議会資料代 @3,000円×5人=15,000円 中国五県町村教育長会研究大会資料代 7,000円 機関紙「時報 市町村教委」年間購読料 @370円×5人×6回=11,100円
使用料	8	県外研修等公用車駐車場使用料 @2,000円×4か所=8,000円
通行料	15	市町村教育委員会研究協議 高速料金
その他負担金	53	鳥取県市町村教育委員会研究協議会負担金 18,800円 西部地区町村教育委員会連絡協議会負担金 16,700円 県町村教育長会負担金 15,000円 全国コミュニティ・スクール連絡協議会会費 2,000円
計	2,221	

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額
				1 報酬	1,428	1,428
				7 報償費	71	71
				8 旅費	1,035	527
				9 交際費	100	80
				10 需用費	68	39
				13 使用料及び賃借料	33	23
				18 負担金補助及び交付金	90	53
	一般財源	2,825	2,221			
	計	2,825	2,221	計	2,825	2,221

事業名	1 教育委員会費	所属名	総務・学校教育課
	○ 研修会・大会への参加、教育行政先進地等の視察研修等		
4月	第1回県・市町村教育委員会連絡協議会		(鳥取市)
5月	全国町村教育長会総会並びに研究大会		(東京都内)
	県社会教育協議会総会・研修会		(倉吉市)
	部落解放・人権政策確立要求実行委員会総会・学習会		(鳥取市)
	西部地区町村教育委員会連絡協議会研修会		(県西部地区)
6月	町村教育長会総会兼研究大会		(県中部地区)
7月	市町村教育委員会研究協議会総会・研修会		(倉吉市)
8月	県教育長・市町村教育長意見交換会		(鳥取市)
	中国五県町村教育長会総会並びに研究大会		(島根県隠岐地区)
10月	町村教育長会研修会		(県西部地区)
	町村教育長会		(倉吉市)
	西部地区町村教育長会		(県西部地区)
11月	第2回県・市町村教育委員会連絡協議会		(鳥取市)
	県社会教育振興大会		(鳥取市)
2月	県教育行政施策意見交換会		(鳥取市)
未定	西伯郡教育長会県外研修		(京都府内、北海道函館市)
未定	市町村教育委員会研究協議会 教育委員2名+教育長+事務局1名		(西日本地域)

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	1	教育委員会事務局費						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	教育委員会事務局職員、教職員、保護者				総合計画における位置づけ			
		意図 (対象をどうするか)	児童生徒の教育課題解決に向けた教育委員会事務局及び町内学校の円滑な運営				④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	経費節減に努めながら、教育委員会事務局及び町立学校の円滑な運営を行う。事業経費について、他事業への振り分けを検討・実施する。				名称	教育基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	経費節減に努めながら、教育委員会事務局及び町立学校の円滑な運営を行う。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減	前年度予算比±30%以上の理由 ・公用車管理事業の別事業化に伴う減。 ・その他、町主催教職員研修の廃止等事業見直しによる減。					
	5,025 千円	3,588 千円	△ 1,437 千円	△ 28.6 %						

【事業内容】

教育委員会事務局及び町内学校を円滑に運営するため、環境整備や適切な経費の支出を行う。
中学校新入生の保護者に入学祝い金を贈る。

【本年度の計画】

単位:千円

細節	予算額	内容
報償費	6	交通安全プログラム会議委員謝金 @2,700円×2名=5,400円
旅費	177	(別途記載)
消耗品費	211	事務局の事務に係る経費 201,960円 就学時健診予備検査用紙代 @120円×58冊=6,960円 鳥取県教育関係職員録 1,500円
通信運搬費	96	教育委員会発送文書の郵送料
その他の委託料	196	児童生徒送迎車両運行委託料 @1,380円(片道)×78回 〔 校外学習・しごと未来体験・健康診断等 30回 〕 〔 南部中 土日の登下校(行事・部活) 42回 〕 〔 会見第二小 休日便(行事) 6回 〕 西伯小 休日バス委託料 88,000円×1回
借上料	136	スクールソーシャルワーカー自家用車借上料 @16円×年1,500km×2名=48,000円 幼児教育・保育専門員自家用車借上料 @16円×年2,000km×2名=64,000円 特別支援教育コーディネーター自家用車借上料 @16円×年1,500km×1名=24,000円
使用料	2	公用車出張時の駐車場料金 @1,000円×2回
通行料	34	公用車出張時の高速料金 16,520円×2回=33,040円
その他負担金	2,730	鳥取県西部町村いじめ問題対策協議会負担金 4,000円 西伯郡中学校会負担金 184,500円 西部町村就学支援協議会負担金 56,700円 学校医等公務災害補償事務に係る負担金 10,000円 西部地区学校環境衛生検査器具共同整備施設負担金 55,000円 安全衛生推進者講習受講料 @15,000円×3名=45,000円 防火管理講習受講料 @8,000円×3名=24,000円 中学校新入生入学祝い金 @30,000円×(75名+3名)=2,340,000円
計	3,588	

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額
14-2-2-4	保育対策総合支援事業補助金	0	32	7 報償費	24	6
15-2-6-1	スクールソーシャルワーカー活用事業補助金	0	32	8 旅費	406	177
18-2-4-1	さくら基金繰入金	2,610	2,340	10 需用費	751	211
				11 役務費	227	96
				12 委託料	293	196
				13 使用料及び賃借料	348	172
				18 負担金補助及び交付金	2,976	2,730
	一般財源	2,415	1,184			
	計	5,025	3,588	計	5,025	3,588

事業名	1 教育委員会事務局費	所属名	総務・学校教育課
<p>○ 事務局職員出張旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員人事関係協議 (鳥取市内/1泊2日) ・ 防災交流視察(2回) (高知県佐川町/1泊2日) ・ 小中一貫教育関連研修 (東京都内/1泊2日) ・ 不登校関連研修 (東京都内/2泊3日) <p>○ 児童生徒送迎車両運行委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的:校外学習や夕方及び休日の登下校時における生徒児童の交通手段の確保のため。 ・ 委託先:町内在住の方との個人契約5名及び(株)ジャパントラフィックプランニング <p>○ 中学校新入生入学祝い金</p> <p>保護者に対し、生徒1人あたり30,000ポイントをたすカードへ付与し、学用品等の購入に充ててもらふ。</p>			

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																																							
事業名	3	不登校対策事業						所属名	総務・学校教育課																																								
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒及び保護者				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																										
		意図 (対象をどうするか)	不登校の未然防止・早期対応、居場所づくりにより児童生徒が安全安心に生活できるようにする。				重点事業の内容 不登校対策としてサードプレイスを各所に根拠法令・要綱等																																										
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	不登校新規出現率が前年度を下回るようにする。				名称	南部町教育支援センター設置要綱																																									
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	不登校の数は、全国的に増加している。町は依然として出現率が高い状況が続いている。不登校の未然防止、多様な学び方が実現できる居場所づくり等の対策を充実させる必要がある。				URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00001092.html																																									
比較	前年度	本年度	差引	増減	前年度予算比±30%以上の理由																																												
	1,405 千円	1,141 千円	△ 264 千円	△ 18.8 %	非該当																																												
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育支援センターさくらんぼを拠点として、不登校児童生徒の支援・相談を行うとともに、学校復帰にむけた取組の充実を図る。 ○ 校内サポートルームを各中学校及び小学校1校に設置する。 ○ フリースクール等へ通所する児童生徒の保護者に、その通所費及び通学費を補助する。 <p>【本年度の計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育支援センターさくらんぼにおける宿泊体験活動(松江方面) 旅費47,000円 需用費(ガソリン代28,000円) 使用料(駐車場2,000円 高速代4,000円) (学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金の活用) 国1/3 ○ 家庭訪問の実施 賃借料(自家用車借上48,000円) ○ スクールソーシャルワーカーとの連携強化及び町内他施設(てま里、法勝寺温泉別館等)との連携 ○ フリースクール等へ通所する児童生徒の保護者への通所費及び通学費の補助 936,000円(通所月20,000円、通学月6,000円 3人分) (鳥取県不登校児童生徒支援事業費補助金の活用) 県1/2 ○ 「南部町不登校対策委員会」による不登校対策についての協議 ○ 教育支援センターの消耗品費 需用費10,000円 ○ 緊急支援時のスクールカウンセラー活用の確保 (県の充当を上回った場合の報償費) 5,500円×2時間×6回 報償費66,000円 ■ 緊急支援時のスクールカウンセラー活用 学校関係者の自死・事故死、被災、職員の不祥事、いじめの重大事案などによる学校や地域全体が混乱するストレス状況における特別な支援が対象 <p>学校種別不登校人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7.10月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">小学校</td> <td>不登校児童</td> <td>15人</td> <td>17人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>町出現率</td> <td>3.10</td> <td>3.65</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>県出現率</td> <td>2.27</td> <td>2.39</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>国出現率</td> <td>2.14</td> <td>2.30</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中学校</td> <td>不登校生徒</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>町出現率</td> <td>7.51</td> <td>7.17</td> <td>4.36</td> </tr> <tr> <td>県出現率</td> <td>7.19</td> <td>7.72</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>国出現率</td> <td>6.71</td> <td>6.79</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>													R5	R6	R7.10月末	小学校	不登校児童	15人	17人	11人	町出現率	3.10	3.65	2.50	県出現率	2.27	2.39	—	国出現率	2.14	2.30	—	中学校	不登校生徒	19人	19人	11人	町出現率	7.51	7.17	4.36	県出現率	7.19	7.72	—	国出現率	6.71	6.79	—
		R5	R6	R7.10月末																																													
小学校	不登校児童	15人	17人	11人																																													
	町出現率	3.10	3.65	2.50																																													
	県出現率	2.27	2.39	—																																													
	国出現率	2.14	2.30	—																																													
中学校	不登校生徒	19人	19人	11人																																													
	町出現率	7.51	7.17	4.36																																													
	県出現率	7.19	7.72	—																																													
	国出現率	6.71	6.79	—																																													
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)																																												
款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額																																											
14-2-5-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	27	27	7 報償費	66	66																																											
15-2-6-1	鳥取県不登校児童生徒支援事業費補助金	468	468	8 旅費	47	47																																											
15-2-6-1	教育支援センター機能強化事業費補助金	48	0	10 需用費	42	38																																											
18-2-4-1	さくら基金繰入金	862	646	13 使用料及び賃借料	78	54																																											
				17 備品購入費	236	0																																											
				18 負担金補助及び交付金	936	936																																											
	一般財源	0	0																																														
	計	1,405	1,141	計	1,405	1,141																																											

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	5	児童生徒就学援助・奨励事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	経済的理由によって就学することが困難と認められる児童生徒、その保護者				総合計画における位置づけ			
		意図 (対象をどうするか)	就学に関する費用の援助を行う。				④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	援助が必要な世帯の保護者の経済的、心理的負担を軽減するとともに、義務教育の円滑な実施に資する。				②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	援助が必要な世帯の保護者の経済的、心理的負担を軽減することで児童生徒が教育活動に円滑に参加できるようにする必要がある。				名称 南部町就学援助費給付要綱 URL https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000813.html 名称 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 URL https://www.mext.go.jp/component/a_menyo/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2017/04/04/1367827_01.pdf 名称 南部町特別支援教育就学奨励費支給要綱 URL https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000932.html 前年度予算比±30%以上の理由 非該当			
比較	前年度	本年度	差引	増減						
	12,554 千円	12,003 千円	△ 551 千円	△ 4.4 %						
【事業内容】										
○ 南部町就学援助費給付要綱に規定する給付対象者を要保護者、準要保護者に認定し、次の経費を援助する。 要保護・・・修学旅行費、医療費、日本スポーツ振興センター掛金 (学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費(中学)、オンライン学習通信費、卒業アルバム代等購入費、地域クラブ費については、生活保護費(福祉事務所)より支給される。) 準要保護・・・学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費(中学)、日本スポーツ振興センター掛金、オンライン学習通信費、卒業アルバム代等購入費、地域クラブ費										
○ 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者で希望する者に対し、特別支援教育就学奨励費として、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費(中学)、オンライン学習通信費、交流及び共同学習時の通学費の一部を援助する。 (要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金の活用 補助率 国1/2)										
【本年度の計画】										
(その他負担金) 460円×118人=54,280円 (55千円)										
(扶助費)										
○要保護・準要保護世帯認定者数 単位:人										
			要保護数	準要保護数						
小学校	継続		0	61						
	R8年度新規(見込)		0	4						
	R9年度新1年(見込)		0	4						
	小計		0	69						
中学校	継続		0	48						
	R8年度新規(見込)		0	3						
	小計		0	51						
計			0	120	支払見込額		11,504千円			
・準要保護のうち、被災による認定予定者 2人 (被災児童生徒就学援助事業費補助金の活用 補助率 県10/10)										
○特別支援教育就学奨励費										
	小学校	中学校	計							
児童生徒数(見込)	18人	3人	21人	支払見込額		444千円				
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称		前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額			
14-2-5-1	要保護児童生徒援助費補助金		10	10	18 負担金補助及び交付金	54	55			
14-2-5-1	特別支援教育就学奨励費補助金		531	221	19 扶助費	12,500	11,948			
15-2-6-1	被災児童生徒就学援助事業費補助金		168	288						
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター補助金		19	18						
	一般財源		11,826	11,466						
	計		12,554	12,003	計	12,554	12,003			

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	6	英語教育充実事業							所属名	総務・学校教育課
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり			
		意図 (対象をどうするか)	外国語活動や英語教育、国際理解教育の充実を図り、児童生徒の主体的にコミュニケーションを図る姿勢、実践力を高める。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	児童生徒の積極的な英語でのコミュニケーションスキルを伸ばすとともに、中学校において話すことや聞くこと等の実践力及び文法等コミュニケーションを図るための素地を高める。				名称	教育基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	小学校は音声によるコミュニケーションが中心であり、中学校においては、英語を話したり聞いたりといった活用面に課題があるため、専門的な指導力が必要。また、AIとの音声会話練習や教科書の復習教材に繰り返し取り組めるオンライン英語学習アプリは、基礎基本の定着を図り、学ぶ意欲向上につなげるため必要。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減	前年度予算比±30%以上の理由 非該当					
		12,013 千円	11,734 千円	△ 279 千円	△ 2.3 %					
<p>【事業内容】</p> <p>○外国語指導助手(ALT)を中学校、外国語支援員を小学校にそれぞれ配置することにより、外国語活動や英語教育、国際理解教育の充実を図り、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や素地を育成するとともに、ネイティブ・スピーカーの発音や会話を通して、実践的に活用できる力を育成する。</p> <p>○学校教育課程外の活動として、英語によってコミュニケーションをとる機会をつくり、実践的な英語力の育成するとともに、グローバルな視点に立った人材育成を図る。</p> <p>○小学校高学年、中学校にオンライン英語学習アプリを導入することにより、個人のペースに合わせて学べたり発音評価、単語ドリル、リスニング等の機能を活用して基礎基本の定着を図る。 (鳥取県オンラインスピーキング支援事業費補助金の活用 補助率:県1/2 補助対象経費上限3,000円/人)</p> <p>【本年度の計画】</p> <p>○外国語指導助手を各中学校区に1名、計2名配置し、外国語活動及び英語教育、国際理解教育の充実を図る。 外国語指導業務委託 10,494,000円 有限会社イングリッシュスクール R8.4.1~R11.3.31 令和7年度公開型プロポーザルによる3年契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置日数200日間以上 ・1日6時間 授業は週22時間程度 ・小学校及び中学校における英語教育 ・外国の文化、生活等の紹介 ・特別活動等における語学指導、児童生徒との交流 <p>○ALTを活用したイングリッシュデーを開催し、体験活動を通して生きて働く英語力の育成を図る。 体験活動で使用する消耗品 1,000円×5校=5,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に町内学校各1回 半日程度 ・ゲームや共同作業、ALTの外国文化紹介等 <p>○オンライン英語学習アプリTerraTalkの導入 1,234,200円 小学校高学年 1,320円×152人=200,640円 中学生(教科書連動教材含む)3,960円×255人=1,009,800円 教員(小学校3人、中学校5人)1,320円×3人+3,960円×5人=23,760円</p>										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称				前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額	
15-2-6-1	鳥取県オンラインスピーキング支援事業費補助金				473	482	10 需用費	0	5	
							12 委託料	10,780	10,494	
							13 使用料及び賃借料	1,233	1,235	
	一般財源				11,540	11,252				
	計				12,013	11,734	計	12,013	11,734	

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	7	地域とともに歩む学校づくり推進事業(教育委員会事務局)						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員、町民				総合計画における位置づけ			
		意図 (対象をどうするか)	地域総ぐるみで子どもを育むしくみや環境を整える。				④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	先進地視察等を通じ、コミュニティ・スクール関係者が主体的に他組織から学び、自組織の活動を見直すための継続的な意識改革を行う。				②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	「社会に開かれた教育課程」の実現、いじめ・不登校の増加など、複雑化・困難化する課題解決のため、学校のみならず家庭や地域住民等が相互に連携・協働し、地域全体で子どもたちの教育環境を向上させていく。				名称 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領 URL https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/01youryou.pdf 名称 南部町学校運営協議会設置要綱 URL https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG0000687.html 名称 URL 前年度予算比±30%以上の理由 ・コミュニティ・スクール広報動画制作事業完了による減 ・先進地視察研修バス借上料の減			
比較	前年度	本年度	差引	増減						
	2,172 千円	1,320 千円	△ 852 千円	△ 39.2 %						

【事業内容】

- 中学校区単位のコミュニティ・スクール(CS)活動の充実を図り、小中一貫教育の視点を強化する。
 - 中学校区単位及び各学校における熟議を学校運営や教育活動に生かすとともに、地域との協働活動の充実を図る。
- (学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3)

【本年度の計画】

- 学校運営協議会及びCS委員会の開催に際し、委員謝金を支払う。
- コミュニティ・スクールに係る町内研修会の開催
- コミュニティ・スクール先進地視察研修(京都府内)10名
- 全国コミュニティ・スクール研究大会(京都市)への参加 3名

単位:千円

細節	予算額	内容
報償費	551	研修講師謝金 (@9,000円×2時間+@6,000円×2時間)×2名=60,000円 南部中学校区学校運営協議会委員謝金 @1,350円×7人×4回=37,800円 法勝寺中学校区学校運営協議会委員謝金 @1,350円×10人×4回=54,000円 会見第二小学校運営協議会委員謝金 @1,350円×17人×6回=137,700円 CS委員会委員謝金 会見小 @1,350円×12人×6回=97,200円 南部中 @1,350円×10人×4回=54,000円 西伯小 @1,350円×9人×4回=48,600円 法勝寺中 @1,350円×9人×5回=60,750円
普通旅費	121	研修講師旅費 (下関/1泊2日)30,660円+9,800円=40,460円 (東京/2泊3日)69,800円+9,800円×2泊=79,600円
研修旅費	625	CS全国大会(京都/1泊2日)(24,620円+19,000円×2泊)×3名=187,860円 CS先進地視察研修(京都/1泊2日)(24,620円+19,000円)×10名=436,200円
消耗品費	10	PPC用紙
借上料	13	協働活動統括推進員(1人)の活動時の自家用自動車借上料 @16円×800Km=12,800円
計	1,320	

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	1,120	880	7 報償費	551	551
				8 旅費	732	746
				10 需用費	10	10
				12 委託料	501	0
				13 使用料及び賃借料	378	13
	一般財源	1,052	440			
	計	2,172	1,320	計	2,172	1,320

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																																																																						
事業名	8	高校等通学定期券助成事業	所属名	総務・学校教育課																																																																												
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	公共交通機関を利用して高等学校等に通学する生徒とその保護者				総合計画における位置づけ																																																																									
		意図 (対象をどうするか)	公共交通機関を利用して通学する高等学校等の生徒の保護者の経済的負担を軽減し教育の機会均等を図るとともに、公共交通機関の利用の促進を行う。				④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等																																																																									
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	安心安全な通学を確保するとともに、保護者の経済的負担を軽減する。また、公共交通機関の維持に資する。				名称	南部町高等学校等通学定期乗車券等購入助成金交付規則																																																																								
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	子どもたちが通学費用を理由に希望する学びを諦めることがないよう支援するとともに、公共交通機関の維持に資するために必要である。				URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/honbun/r049RG00000830.html																																																																								
比較	前年度	本年度	差引	増減		前年度予算比±30%以上の理由 非該当																																																																										
	3,023 千円	2,539 千円	△ 484 千円	△ 16.0 %																																																																												
<p>【事業内容】</p> <p>○ 定期券等により公共交通機関(路線バス及び鉄道)を利用して通学する生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減することにより教育の機会均等を図るとともに、公共交通機関の利用を促進することにより公共交通の維持に対する一助となることを目的に、高等学校等への通学に係る定期券及び回数券購入費の1/2(100円未満は切り捨て)を助成する。 (鳥取県高校生等通学費助成事業補助金の活用 補助率:県1/2、町1/2)</p> <p>【本年度の計画】</p> <p>申請者に対し、定期券及び回数券購入の1/2(100円未満は切り捨て)を助成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>バス(定期)</td> <td>西伯方面⇄米子方面</td> <td>8,200 円 ×</td> <td>12 月 ×</td> <td>20 人 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>984,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>会見方面⇄米子方面</td> <td>11,140 円 ×</td> <td>12 月 ×</td> <td>3 人 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>200,520</td> </tr> <tr> <td></td> <td>米子駅⇄各方面</td> <td>8,210 円 ×</td> <td>12 月 ×</td> <td>4 人 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>197,040</td> </tr> <tr> <td>JR(定期)</td> <td>岸本駅⇄根雨駅</td> <td>8,110 円 ×</td> <td>12 月 ×</td> <td>3 人 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>145,980</td> </tr> <tr> <td></td> <td>米子駅⇄倉吉方面</td> <td>5,770 円 ×</td> <td>12 月 ×</td> <td>3 人 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>103,860</td> </tr> <tr> <td></td> <td>米子駅⇄境港方面</td> <td>7,150 円 ×</td> <td>12 月 ×</td> <td>9 人 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>386,100</td> </tr> <tr> <td>バス(回数券)</td> <td>法勝寺線</td> <td>4,600 円 ×</td> <td>150 冊 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>345,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>御内谷線</td> <td>4,300 円 ×</td> <td>40 冊 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>86,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>6,000 円 ×</td> <td>30 冊 ×</td> <td>0.5 =</td> <td>90,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>2,538,500</td> </tr> </table>											バス(定期)	西伯方面⇄米子方面	8,200 円 ×	12 月 ×	20 人 ×	0.5 =	984,000		会見方面⇄米子方面	11,140 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	200,520		米子駅⇄各方面	8,210 円 ×	12 月 ×	4 人 ×	0.5 =	197,040	JR(定期)	岸本駅⇄根雨駅	8,110 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	145,980		米子駅⇄倉吉方面	5,770 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	103,860		米子駅⇄境港方面	7,150 円 ×	12 月 ×	9 人 ×	0.5 =	386,100	バス(回数券)	法勝寺線	4,600 円 ×	150 冊 ×	0.5 =	345,000			御内谷線	4,300 円 ×	40 冊 ×	0.5 =	86,000			その他	6,000 円 ×	30 冊 ×	0.5 =	90,000								2,538,500
バス(定期)	西伯方面⇄米子方面	8,200 円 ×	12 月 ×	20 人 ×	0.5 =	984,000																																																																										
	会見方面⇄米子方面	11,140 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	200,520																																																																										
	米子駅⇄各方面	8,210 円 ×	12 月 ×	4 人 ×	0.5 =	197,040																																																																										
JR(定期)	岸本駅⇄根雨駅	8,110 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	145,980																																																																										
	米子駅⇄倉吉方面	5,770 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	103,860																																																																										
	米子駅⇄境港方面	7,150 円 ×	12 月 ×	9 人 ×	0.5 =	386,100																																																																										
バス(回数券)	法勝寺線	4,600 円 ×	150 冊 ×	0.5 =	345,000																																																																											
	御内谷線	4,300 円 ×	40 冊 ×	0.5 =	86,000																																																																											
	その他	6,000 円 ×	30 冊 ×	0.5 =	90,000																																																																											
						2,538,500																																																																										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)																																																																											
款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額																																																																										
15-2-6-1	鳥取県高校生通学費助成制度補助金	1,511	1,269	18 負担金補助及び交付金	3,023	2,539																																																																										
	一般財源	1,512	1,270																																																																													
	計	3,023	2,539	計	3,023	2,539																																																																										

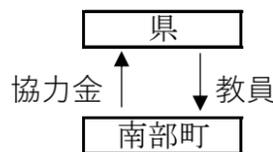
款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	11	少人数学級対応事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり			
		意図 (対象をどうするか)	学校生活全体において、よりきめ細やかな指導・支援を受ける。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	きめ細やかな指導・支援の充実により、主体的な学習意欲と自己肯定感の向上や不登校の未然防止につなげる。				名称	鳥取県公立小・中・義務教育・特別支援学校学級編成基準及び取扱要領		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	個々の児童生徒へ学習進度や理解度に合わせた指導・支援により、つまずきの早期発見や得意分野の伸長が促され、主体的な学習意欲と自己肯定感の向上につなげるとともに、児童生徒に目を配りやすくなることで、安心な学校生活につなげるため必要である。				URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1382037/gian2.pdf		
比較	前年度	本年度	差引	増減	前年度予算比±30%以上の理由 総学級数減により、加配される教員数が昨年度より少なくなり、協力金が減となるため。					
	12,000 千円	7,000 千円	△ 5,000 千円	△ 41.7 %						

【事業内容】

小学校は、全学級における30人学級を編成する。
中学校は、1年生33人学級、2,3年生35人学級を編成する。

R8年度学級編成基準

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
南部町	30	30	30	30	30	30	33	35	35
県	30	30	30	30	30	30	33	35	35
国	35	35	35	35	35	35	40	40	40



- ・小1、小2、中1は県費により少人数学級実施
- ・それ以外の学年は、国基準を超えて県基準の少人数学級を実施する場合は200万円の協力金が必要
- ・県基準を超えて少人数学級を実施する場合は500万円の協力金が必要

【本年度の計画】

南部中学校2年生(34名)をきめ細やかな指導支援の重点学年として30人学級を実現するために
また、南部中学校3年生(36名)を35人学級を編成するために必要な経費を県に支払い、指導支援の充実を図る。

○ 少人数学級に係る県への協力金 (令和7年12月1日現在)

- ・ 南部中2年 5,000千円
- ・ 南部中3年 2,000千円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額
18-2-4-1	さくら基金	12,000	7,000	25 寄附金	12,000	7,000
	一般財源	0	0			
	計	12,000	7,000	計	12,000	7,000

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																																																																																				
事業名	12	学校経営校長戦略事業						所属名	総務・学校教育課																																																																																					
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員				総合計画における位置づけ																																																																																							
		意図 (対象をどうするか)	戦略的に学校経営を行うことで、学校教育の充実を図るとともに各校の課題を解決する。				④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等																																																																																							
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	教職員の授業力向上による児童生徒の学力向上や教職員の働き方改革の推進による業務の効率化を図る。				名称	教育基本法																																																																																						
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	授業研究会の開催や研究会への参加により、授業力の向上を図ることで学力向上が期待できる。また、各校独自の課題に対応した取組が必要である。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html																																																																																						
比較		前年度	本年度	差引	増減	名称	学校教育法																																																																																							
		1,099 千円	506 千円	△ 593 千円	△ 54.0 %	URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC000000026																																																																																							
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現地を訪れて先進的な取組に学び、学力向上モデルを構築し授業実践に活かす。 ○ 学校別・中学校区別課題を明確にし、小中連携・小中連携の推進を基盤として、その課題解決に校長のリーダーシップを発揮し、戦略的な取り組みを展開する。 ○ 授業研究会、研修会の開催等、学校課題の解決に資する取組を実施する。 <p>【本年度の計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職業体験に係る事前指導・講話(法勝寺中) <ul style="list-style-type: none"> 講師報償費 @5,000円×3名 ○ 生徒指導または学習指導に係る教職員研修(南部中) <ul style="list-style-type: none"> 講師報償費 @9,000円×2時間 講師旅費(島根大学) 3,000円 ○ 人権参観日に係る講師招へい(法勝寺中) <ul style="list-style-type: none"> 講師報償費 @9,000円×2時間 @6,000円×2時間 講師旅費(大阪市) 24,680円 ○ 先進地視察研修等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県佐川町(西伯小・会見小・法勝寺中) <ul style="list-style-type: none"> 防災教育推進のため、交流校を視察し、情報交換を行う。 旅費(宿泊費)@19,000円×3名=57,000円 ※教育委員会事務局職員が同行(関連事業名:教育委員会事務局費) ・ 岡山県岡山市(西伯小・会見小) <ul style="list-style-type: none"> 授業改善と指導力向上の推進のため、岡山市立芳泉小学校で実施される校内授業研究会へ参加し、協同学習について学ぶ。 旅費(4名) 44,800円 ・ 岡山県岡山市内(西伯小) <ul style="list-style-type: none"> 教育DX化を推進している岡山県小学校教育研究会情報教育部研修会に参加し、授業におけるICT活用の工夫等を学ぶ。 旅費(1名) 10,340円 ○ 特色ある取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞を活用した学力向上事業(西伯小) <ul style="list-style-type: none"> 3年生以上で実施する。 新聞代@40円×110名×12回=52,800円 ・ デジタル新聞を活用した学力向上事業(会見小) <ul style="list-style-type: none"> 3年生以上で実施する。 日本海新聞forスタディ年間使用料 @660円×95名=62,700円 ・ プログラミング学習の推進(会見二小) <ul style="list-style-type: none"> R6年度導入の学習用ドローンの操作端末を購入する。(現有の機器では操作不能のため) プログラミング用PC(iPad)@58,800円×2台=117,600円 ・ 採点ソフトの使用(南部中) <ul style="list-style-type: none"> 使用を継続し、教職員の業務効率化を図る。(R6年度導入) 採点ナビ年間使用料 99,000円 <p>(歳入内訳 単位:千円) (歳出内訳 単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度予算額</th><th>本年度予算額</th><th>節</th><th>前年度予算額</th><th>本年度予算額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>7 報償費</td><td>138</td><td>33</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>8 旅費</td><td>517</td><td>140</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>245</td><td>53</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>199</td><td>162</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>17 備品購入費</td><td>0</td><td>118</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>一般財源</td><td>1,099</td><td>506</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>計</td><td>1,099</td><td>506</td><td>計</td><td>1,099</td><td>506</td></tr> </tbody> </table>											款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額					7 報償費	138	33					8 旅費	517	140					10 需用費	245	53					13 使用料及び賃借料	199	162					17 備品購入費	0	118																														一般財源	1,099	506					計	1,099	506	計	1,099	506
款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額																																																																																								
				7 報償費	138	33																																																																																								
				8 旅費	517	140																																																																																								
				10 需用費	245	53																																																																																								
				13 使用料及び賃借料	199	162																																																																																								
				17 備品購入費	0	118																																																																																								
	一般財源	1,099	506																																																																																											
	計	1,099	506	計	1,099	506																																																																																								

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	15	ICT活用事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり			
		意図 (対象をどうするか)	ICTを活用しながら、学びの深化・展開を図り、主体的に学習に向かう力を育む。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	1人1台端末と通信ネットワークの学校ICT環境整備を進め、多様な場面でのタブレット端末の活用を通して児童生徒の情報活用能力の育成を図り、主体的・対話的で深い学びの充実を図る。				名称	教育基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	予測困難な未来を生き抜く力を育むためには、答えのない問いに対して情報を活用して、課題解決を図る力を育成することが必要である。そのため、児童生徒が1人1台端末を他者と考えを共有したり、自分の考えを表現したりと活用できるよう環境整備が必要である。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
						名称	学校教育の情報化の推進に関する法律			
						URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1418577.htm			
						名称				
						URL				
						前年度予算比±30%以上の理由				
						一人一台端末の更新のため。				
比較		前年度	本年度	差引	増減					
		3,297 千円	43,578 千円	40,281 千円	1,221.7 %					
<p>【事業内容】</p> <p>○1人1台端末がネットワークにつながり、円滑に活用できるよう学校ICT環境を整備する。</p> <p>○1人1台端末を活用して個人の進度に合わせて学べるソフト、機器を整備する。 (鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金の活用 補助率: 県1/2、町1/2)</p> <p>【本年度の計画】</p> <p>○1人1台端末の活用に係る学校ICT環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習用タブレット端末のアカウント等設定委託料 308,000円 教育用サーバの保守 29,150円×12ヶ月=349,800円 自家用車借上料 1,200円×12ヶ月=14,400円 端末のフィルタリングソフト使用料 550円×691人×1.1=418,055円 授業目的公衆送信補償金 小学校(439+10人)×120円×1.1= 59,268円 中学校(252人+10人)×180円×1.1= 51,876円 1人1台端末の更新(R9.3更新) 41,060,000円 55,000円(補助上限)×640台(R9年度児童生徒数)=35,200,000円 55,000円(補助上限)×96台(教員、予備機)=5,280,000円 1,000円(端末処分)×580台=580,000円 <p>○個人の進度に合わせて学べるソフト、機器の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウド型ドリル教材(小5教科、中9教科) 小3～中3・教職員1,600円×720アカウント×1.1=1,267,200円 Google高度機能アカウント使用料 7,200円×6×1.1=47,520円 										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額				
15-2-6-1	鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金	633	633	12 委託料	308	308				
15-2-6-1	鳥取県公立学校情報機器整備事業費補助金	0	26,986	13 使用料及び賃借料	2,330	2,098				
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	14,074	17 備品購入費	546	41,060				
				21 補償補填及び賠償金	113	112				
	一般財源	2,664	1,885							
	計	3,297	43,578	計	3,297	43,578				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	21	地域クラブ支援事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	生徒				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち)			
		意図 (対象をどうするか)	部活動地域移行に係る取組を進めることで、生徒が主体的に選択し、地域の中で専門的な指導が受けられるようにする。				重点事業の内容			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	中学校部活動を南部町型地域クラブ方式へ移行させ、環境整備、指導の質の向上及びスポーツ・文化芸術活動の機会の確保を推進する。				根拠法令・要綱等			
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	令和7年度より一部の部活動が先行して地域クラブ化することとなった。「南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言」に示された8年度移行の取組を推進、持続可能なものにしていく必要がある。				前年度予算比±30%以上の理由			
比較	前年度	本年度	差引	増減	非該当					
	0 千円	20,175 千円	20,175 千円	-						
<p>【事業内容】 南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言 を踏まえ、R8年度の部活動の地域移行についてクラブ指導員、を配置するとともに、合同チームの練習場所である中学校まで生徒を輸送をする。</p> <p>【本年度の計画】</p> <p>(旅費) 教育振興助成事業に係る地域クラブ指導員旅費 100,000円</p> <p>(委託料) 部活動地域委託業務 13,703,700円×1.1=15,074,070円 ・ コーディネーター業務 2,300円×1,464時間×1.1=3,703,920円 ・ 指導者謝金 運動部 10クラブ×2名×290時間×1,380円×1.1=8,804,400円 文化部 3名(2クラブ)×145時間×1,380円×1.1=660,330円 ・ 管理アプリ使用料 40アカウント×300円×12月×1.1=158,400円 ・ 送迎車両運行 3回/日×週5回×50週×1,380円×1.1=1,138,500円 燃料費 200円×1日×週5日×50週×1.1=55,000円 ・ 広報費 100,000円×1.1=110,000円 ・ 部費 2クラブ×15,000円×1.1=33,000円 10クラブ(中体連所属予定クラブ)×30,000円×1.1=330,000円 ・ 事務費 30,000円×1.1=33,000円 ・ 謝金等振込手数料 100円×3名×12クラブ×12月×1.1=47,520円</p> <p>(負担金補助及び交付金) 地域クラブ立ち上げ支援補助金 500,000円×10クラブ=5,000,000円</p>										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額		
15-2-6-1	部活動地域移行推進事業補助金			0	9,348	8 旅費	0	100		
15-2-6-1	鳥取県地域クラブ立ち上げ支援事業補助金			0	1,500	12 委託料	0	15,075		
18-2-4-1	さくら基金繰入金			0	9,327	18 負担金補助及び交付金	0	5,000		
	一般財源			0	0					
	計			0	20,175	計	0	20,175		

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名	22	学校照明LED化事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち)			
		意図 (対象をどうするか)	蛍光灯・電球をLED化することにより、学校環境を整える。				重点事業の内容 脱炭素のまちづくりの促進 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	町立学校すべての蛍光灯・電球をLED化する。				名称	教育基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	蛍光灯、電球からLED管への交換は約60～70%の電気使用量の削減となり、脱炭素社会の実現に資する。また、2027年末に蛍光灯の生産が終了するため、早期の取替が必要である。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減	前年度予算比±30%以上の理由 非該当					
	0 千円	7,667 千円	7,667 千円	-						

【事業内容】

2027年度末で蛍光灯の生産終了が決定しているため、学校施設の蛍光管及び電球をLED管へ年次的に取替を行う。
 令和8年度:会見小学校、会見第二小学校
 令和9年度:西伯小学校
 令和10年度:法勝寺中学校、南部中学校
 脱炭素化推進事業債の活用(充当率90%)

【本年度の計画】

- ・会見小学校 548台 6,149,000円
LED管:459台 埋込器具:40台 ダウンライト:48台 直付け器具:1台
- ・会見第二小学校 160台 1,518,000円
LED管:155台 埋込器具:4台 ペンダント器具:1台

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額
21-1-6-1	学校照明LED化事業債(脱炭素化推進事業債)	0	6,900	14 工事請負費	0	7,667
	一般財源	0	767			
	計	0	7,667	計	0	7,667

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計
事業名	1-1	小学校管理費						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童、教職員				総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		意図 (対象をどうするか)	学校施設の管理など学習環境を整えることによって、児童が健全で安全に学ぶことができるようにする。				名称	教育基本法		
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	児童の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼され、期待される学校づくりを展開していく。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	校舎や敷地内の安全管理に配慮し、適切な管理・運営を行い、教育環境を整える必要がある。又、施設設備の老朽化に伴い発生する突発的な修繕対応も必要である。				名称	学校教育法		
比較	前年度	本年度	差引	増減		名称				
	38,324 千円	36,428 千円	△ 1,896 千円	△ 4.9 %		URL				
【事業内容】						前年度予算比±30%以上の理由				
○ 学校施設設備の維持管理を行う。 ○ 児童・教職員の学校生活と学校運営管理に必要な物品を購入する。 ○ 児童・教職員の健康と安全のための事業を行う。 (鳥取県公立学校情報機器整備事業費補助金の活用 補助率10/10)						非該当				
【本年度の計画】										
詳細は次ページに掲載										
※令和8年度児童数・学級数 (令和7年10月10日現在見込)						*児童数の()内の数は特別支援学級在籍児童で内数				
	会見小学校		会見第二小学校		西伯小学校		合計			
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数		
1年	23 (0)	1	1 (0)	1	36 (1)	2	60 (1)			
2年	19 (1)	1	2 (0)	1	37 (5)	2	58 (6)			
3年	22 (3)	1	1 (0)	1	56 (3)	2	79 (6)			
4年	25 (3)	1	5 (0)		53 (4)	2	83 (7)			
5年	24 (1)	1	5 (0)	1	44 (3)	2	73 (4)			
6年	20 (2)	1	3 (0)		49 (3)	2	72 (5)			
合計	133 (10)	6	17 (0)	4	275 (19)	12	425 (29)	22		
知的障がい(再掲)	3	1	0	0	6	1	9	2		
自閉症・情緒障がい(再掲)	7	1	0	0	11	2	18	3		
難聴(再掲)	0	0	0	0	1	1	1	1		
病弱・身体虚弱(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0		
肢体不自由(再掲)	0	0	0	0	1	1	1	1		
合計		8		4		17		29		
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額		
15-2-6-1	避難所等環境整備総合支援事業補助金			924	0	1 報酬	766	750		
15-2-6-1	鳥取県公立学校情報機器整備事業費補助金			0	50	10 需用費	22,868	21,640		
20-5-5-1	太陽光発電売電料			30	30	11 役務費	2,207	2,097		
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター掛金受入金			204	195	12 委託料	8,456	9,404		
21-1-6-1	小学校管理事業債(公共施設等適正管理推進事業債)			1,800	600	13 使用料及び賃借料	1,481	1,736		
						15 原材料費	80	53		
						17 備品購入費	2,051	50		
						18 負担金補助及び交付金	415	698		
	一般財源			35,366	35,553					
	計			38,324	36,428	計	38,324	36,428		

事業名	1-1	小学校管理費	所属名	総務・学校教育課
-----	-----	--------	-----	----------

単位:千円

細節	予算額	内容
非常勤等報酬	750	内科医 176,600円 歯科医 176,600円 眼科医 146,600円 耳鼻科医 146,600円 薬剤師 103,300円
消耗品費	3,004	一般事務用 584,141円 管理用 190,833円 資料用 8,250円 コピー 750,000円 清掃用 147,752円 給食用 126,882円 保健用 288,042円 コンピュータ 499,951円 芝生用(会小・西小) 357,519円 消火栓ホース 50,600円
燃料費	259	ガス 10,300円×12月=123,600円 灯油 137円×4940=67,678円 混合油 220円×760=16,720円 ガソリン 182円×2800=50,960円
食糧費	9	来客用茶 3,000円×3校=9,000円
印刷製本費	25	卒業証書 150円×106枚=15,900円 入学卒業写真 5,000円
光熱水費	13,880	電気 11,600,000円 水道 2,280,000円
施設修繕料	2,918	通常的修繕 254,000円×2校+185,000円×1校=693,000円 西伯小遊具修理(すべり台、ジャングルジム) 366,300円 西伯小体育館ひさし修理 682,000円、西伯小壁修繕 548,900円 会見小3階渡廊下ドア取替 77,000円 会見小内壁塗装修理 550,000円
備品修繕料	580	学校備品修理 20,000円×3校=60,000円 タブレット修繕 100,000円×3校=300,000円 芝刈機修理 100,000円×2校+20,000円×1校=220,000円
医薬材料費	965	プール薬品 814,121円 保健室薬品 150,644円
通信運搬費	1,000	電話 67,500円×12月=810,000円 公用携帯 5,100円×12月=61,200円 非常通報装置 8,100円×12月=97,200円 郵券 31,000円
手数料	429	クリーニング 105,000円 ピアノ調律 76,670円 飲料水検査(西小)12,100円 プール水質検査 137,280円 裁断機刃研ぎ 5,720円×2台=11,440円 オーヂオメータ点検校正 16,500円×3台=49,500円 マシン点検 1,100円×10台=11,000円 浄化槽法定検査(二小) 6,000円 簡易専用水道検査(西小) 19,250円
火災保険料	668	建物災害共済委託分担金
保守点検委託料	5,018	電気管理 455,000円 消防設備点検 523,000円 エレベータ保守点検(会小・西小) 316,800円 印刷機保守(~12月) 49,500円×2校=99,000円 遊具点検 68,860円 空調設備保守点検 761,618円 プールろ過機点検(会小・西小) 264,000円 貯水槽清掃殺菌衝動作業(西小) 57,200円 浄化槽維持管理(二小) 43,000円 芝刈機維持管理(乗用、自走) 310,739円 職員用パソコン保守 1,908,720円 非常通報装置保守 69,960円×3校=209,880円
施設管理委託料	3,445	学校警備 13,860円×12月×3校=498,960円 施設清掃(カーペット・床・ガラス) 1,812,690円 庭木剪定等環境整備 1,004,473円 防雪ネット設置・撤去(会小) 73,878円 浄化槽清掃(二小) 54,000円
その他の委託料	941	児童健康診断(尿検査・心電図検査) 330,715円 教職員健康診断(一般検診・胃検診) 598,400円 職員ストレスチェック 176円×65人=11,440円
借上料	1,077	AED借上 36,000円×3校=108,000円 コピー機賃借(~4月)(会小・二小) 660円×1月×2校=1,320円 コピー機賃借(5月~)(会小・二小) 11,154円×11月×2校=245,388円 コピー機賃借(7月~)(西小) 11,748円×9月×1校=105,732円 印刷機賃借(~12月)(会小・西小)94,050円×2校=188,100円 印刷機賃借(1月~)(会小・二小) 165,000円×2校=330,000円 児童緊急輸送タクシー借上 10,000円 学校主事学校用務自家用車借上 16円×2人=4,800円 モップ賃借(会小・西小) 6,930円×12月=83,160円
使用料	659	NHK受信料 5台58,691円 下水道使用料 600,000円
原材料費	53	校舎修繕用
備品購入費	50	(西小)障害のある児童生徒のための入出力支援装置 50,000円
その他負担金	398	日本スポーツ振興センター設置者負担分 475円×425人=201,875円 日本スポーツ振興センター保護者負担分 460円×425人=195,500円
その他補助金	300	南部町障がいのある児童生徒の学習環境整備品購入助成金
計	36,428	

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名	1	小学校教育振興費						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童、教職員				総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成			
		意図 (対象をどうするか)	教育目標の達成に向け、毎日の教育活動や各教科・領域の年間指導計画に基づく学習活動を推進する。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	学習指導や児童の豊かな体験活動の充実が図られ、児童が楽しく学べる学校とする。				名称	教育基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	学習指導の充実や豊かな体験活動が、仲間づくり等に必要な物品購入、各調査、講師招聘等に係る経費が必要である。教育活動に必要な物品の購入及び活用を図る。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減	名称					
	15,954 千円	13,860 千円	△ 2,094 千円	△ 13.1 %	URL					
【事業内容】						前年度予算比±30%以上の理由				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動を充実させるために外部講師を招聘する。 ○ 授業、指導、学校行事等に必要な教材を把握し、効果的な教授活動を行うため物品の計画的な購入を行う。 ○ いじめ・不登校の未然防止・早期発見による望ましい人間関係づくりに生かすため、QUTテストを実施する。 ○ 児童理解につながる情報収集と分析のための学力調査、知能検査を行う。 ○ 児童を対象とした芸術文化事業を委託する。 ○ 校外学習、授業や行事で児童を輸送するためのバスの手配を行う。 ○ 学校徴収金の安全管理及び適正管理を行う。 ○ 1,3,5年(転入含む)の黄色い帽子、1年(転入含む)のレインコート購入を助成をする。 ○ 中国大会、全国大会派遣に係る経費を補助する。 						非該当				
【本年度の計画】										
詳細は次ページに掲載										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額		
						7 報償費	678	583		
						8 旅費	96	81		
						10 需用費	6,499	5,756		
						11 役務費	38	38		
						12 委託料	2,099	1,958		
						13 使用料及び賃借料	3,195	2,788		
						15 原材料費	195	148		
						17 備品購入費	2,519	1,865		
						18 負担金補助及び交付金	635	643		
	一般財源			15,954	13,860					
	計			15,954	13,860	計	15,954	13,860		

事業名	1	小学校教育振興費	所属名	総務・学校教育課
-----	---	----------	-----	----------

単位:千円

細節	予算額	内容
報償費	583	卒業記念品(辞書・証書フォルダ)(1,114円+715円)×75名=139,425円 ブラッシング指導 5,000円×14時間=70,000円 性に関する講演(看護師) 10,000円×2人=20,000円 性に関する講演(助産師) 12,500円×4人=50,000円 生命に関する講演 15,000円×1人=15,000円 学習講師 5,000円×2人=10,000円 大山登山ガイド 1人×21,000円 読み聞かせ 1,280円×2時間×2人×6学年=30,720円 人権教育 15,000円×2人=30,000円、人権教育 5,000円×4時間=20,000円 歯科指導 20,000円×1人=20,000円 協同学習講師 39,000円×1人×4回=156,000円
普通旅費	81	協同学習講師 13,140円×1人×4回=52,560円 人権教育講師 27,800円×1人×1回=27,800円
消耗品費	5,231	教育事務用 991,529円 学級経営 346,400円 教務用 136,400円 教科用 1,379,633円 教師用教科書、指導書 29,758円 1～3年教材費 2,347,000円(1年12,500円2年10,000円3年12,000円)
印刷製本費	425	会小卒業文集 145,200円 西小卒業文集 148,500円 二小全校文集 130,900円
備品修繕費	100	楽器修理
手数料	38	インターネットバンキング手数料 31,680円 金融機関振込手数料 6,050円
その他の委託料	1,958	WEBQU(2回) 433人×825円=357,225円 知能検査(1・3・5年) 220人×510円=112,200円 標準学力調査(2回) 2757人×420.20円=1,158,491円 芸術文化鑑賞(会小) 330,000円
借上料	2,435	貸切バス借上 校外学習
使用料	353	まち未来科花回廊入園料(西小) 38人×240円=9,120円 スキー教室駐車代(会小・二小) 1台×1,000円×2校=2,000円 インターネットバンキング使用料 1,100円×12月×3金融機関=39,600円 コグトレオンライン料 20人×1,320円=26,400円 しあわせプール使用料(二小) 275,613円
原材料費	148	教科用(図工、家庭、理科、特別支援)
備品購入費	1,865	(会小) 児童用図書 470,000円 フィルムコート装備 13,200円 職員図書 10,000円 (二小) 児童用図書 393,000円 フィルムコート装備 6,600円 職員図書 10,000円 (西小) 児童用図書 939,000円 フィルムコート装備 13,200円 職員図書 10,000円
その他負担金	243	西伯郡学校保健会負担金 432人×20円=8,640円 学校図書館協議会負担金 2,000円×3校=6,000円 修学旅行引率経費(会小・二小) 6人×3,043円=18,258円 修学旅行引率経費(西小) 6人×2,757円=16,542円 修学旅行キャンセル保障保険料 87人×910円=79,170円 金管クラブ負担金・参加費(西小) 6,500円 黄色い帽子・レインコート購入助成 107,250円
その他補助金	400	教育振興助成事業
計	13,860	

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名	3	通学定期券助成事業(小学校)						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	公共交通機関により通学をする児童とその保護者				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり			
		意図 (対象をどうするか)	児童が安心安全に通学することで円滑な就学が行われ、保護者の負担軽減となっている。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	児童の安心安全な通学と保護者の負担軽減を図る。				名称	南部町立小学校及び中学校の遠距離通学児童生徒通学費助成要綱		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	通学のための定期券購入に、保護者の経済的負担がないようにする必要がある。				URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000611.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減	前年度予算比±30%以上の理由 非該当					
	4,853 千円	4,484 千円	△ 369 千円	△ 7.6 %						
<p>【事業内容】</p> <p>○公共交通機関により遠距離通学をする児童を対象に通学定期券を支給する。 ○町が学期ごとに通学定期券を購入し、学校を通じて支給する。</p> <p>【本年度の計画】</p> <p>(転入者想定) 3人 187,230円 ※最も経費のかかる区間で算出</p> <p>(西伯小学校)</p> <p>○日の丸自動車路線バス利用児童見込み 66名 3,289,620円 ○ふれあいバス(JTP)利用児童見込み 33名 @1,500円×11ヶ月×33名=544,500円 ○南さいはくふれあいバス(日本海観光)利用児童見込み 17名 @1,500円×11ヶ月×17名=280,500円</p> <p>(会見小学校)</p> <p>○ふれあいバス(JTP)利用児童見込み 3名 @1,500円×11ヶ月×3名=49,500円 ○南さいはくふれあいバス(日本海観光)利用児童見込み 1名 @1,500円×11ヶ月×1名=16,500円</p> <p>(会見第二小学校)</p> <p>○ふれあいバス(JTP)利用児童見込み 7名 @1,500円×11ヶ月×7名=115,500円</p>										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称				前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額	
							11 役務費	4,853	4,484	
	一般財源				4,853	4,484				
	計				4,853	4,484	計	4,853	4,484	

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計	
事業名	1-1	中学校管理費						所属名	総務・学校教育課		
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	生徒、教職員				総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成				
		意図 (対象をどうするか)	学校施設の管理など学習環境を整えることによって、児童が健全で安全に学ぶことができるようにする。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等				
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	生徒の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼され、期待される学校づくりを展開していく。				名称	教育基本法			
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	校舎や敷地内の安全管理に配慮し、適切な管理・運営を行い、教育環境を整える必要がある。又、施設設備の老朽化に伴い発生する突発的な修繕対応も必要である。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html			
比較	前年度	本年度	差引	増減	名称						
	31,198 千円	23,617 千円	△ 7,581 千円	△ 24.3 %	URL						
【事業内容】						前年度予算比±30%以上の理由					
○ 学校施設設備の維持管理を行う。 ○ 生徒・教職員の学校生活と学校運営管理に必要な物品を購入する。 ○ 生徒・教職員の健康と安全のための事業を行う。						非該当					
【本年度の計画】											
詳細は次ページに掲載											
※令和8年度児童数・学級数 (令和7年10月10日現在見込)						*生徒数の()内の数は特別支援学級在籍生徒で内数					
		南部中学校		法勝寺中学校		合計					
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数					
1年	30 (0)	1	45 (3)	2	75 (3)						
2年	34 (1)	2	46 (4)	2	80 (5)						
3年	36 (0)	2	57 (2)	2	93 (2)						
合計	100 (1)	5	148 (9)	6	248 (10)	11					
知的障がい(再掲)	1	1	5	1	6	2					
自閉症・情緒障がい(再掲)	0	0	4	1	4	1					
難聴(再掲)	0	0	0	0	0	0					
病弱・身体虚弱(再掲)	0	0	0	0	0	0					
合計		6		8		14					
(歳入内訳 単位:千円)						(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額			
15-2-6-1	避難所等環境整備総合支援事業補助金			616	0	1 報酬	475	468			
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター掛金受入金			117	114	10 需用費	18,820	13,099			
21-1-6-1	中学校管理事業債(公共施設等適正管理推進事業債)			3,200	0	11 役務費	1,470	1,253			
						12 委託料	6,528	7,095			
						13 使用料及び賃借料	927	1,416			
						14 工事請負費	1,243	0			
						15 原材料費	77	54			
						17 備品購入費	1,418	0			
						18 負担金補助及び交付金	240	232			
	一般財源			27,265	23,503						
	計			31,198	23,617	計	31,198	23,617			

事業名	1-1	中学校管理費	所属名	総務・学校教育課
-----	-----	--------	-----	----------

単位:千円

細節	予算額	内容
非常勤等報酬	468	内科医 110,600円 歯科医 110,600円 眼科医 90,600円 耳鼻科医 90,600円 薬剤師 65,300円
消耗品費	2,324	一般事務用 778,755円 管理用 115,154円 資料用 3,300円 コピー 456,000円 清掃用 124,055円 給食用 89,141円 保健用 221,363円 コンピュータ 525,024円 消火器整備 11,050円
燃料費	159	ガス 10,700円×12月=128,400円 灯油 137円×170ℓ=23,290円 混合油 220円×28ℓ=6,160円 ガソリン 182円×5ℓ=910円
食糧費	6	来客用茶 3,000円×2校
印刷製本費	41	卒業証書 150円×125枚=18,750円 卒業アルバム 16,900円
光熱水費	9,730	電気 9,370,000円 水道 360,000円
施設修繕料	508	通常の修繕 254,000円×2校=508,000円
備品修繕料	240	学校備品修理 20,000円×2校=40,000円 タブレット修理 100,000円×2校=200,000円
医薬材料費	91	保健医薬品
通信運搬費	664	電話 44,000円×12月=528,000円 公用携帯 3,400円×12月=40,800円 非常通報装置 5,400円×12月=64,800円 郵券 30,000円
手数料	199	クリーニング 60,000円 ピアノ調律 44,110円 飲料水検査(法中) 12,100円 裁断機刃研ぎ 5,720円×2校=11,440円 浄化槽法定検査(法中) 17,500円 オーディオメータ点検校正 16,500円×3台=49,500円 ホース耐圧試験(南中) 3,850円
火災保険料	390	建物災害共済委託分担金
保守点検委託料	4,025	電気管理 300,000円 消防設備点検 351,000円 エレベータ保守点検 11,000円×12月×2校=264,000円 印刷機保守(~12月) 49,500円×2校=99,000円 遊具点検 25,520円 空調設備保守点検 545,182円 貯水槽清掃消毒作業(法中) 48,400円 貯水槽清掃・水質検査・消火槽清掃(法中) 77,000円 浄化槽点検業務(法中) 902,000円 職員用パソコン保守 636,240円×2校=1,272,480円 非常通報装置保守 69,960円×2校=139,920円
施設管理委託料	2,388	学校警備 13,860円×12月×2校=332,640円 施設清掃(カーペット・ガラス・床) 1,211,320円 庭木剪定等環境整備 652,231円 浄化槽清掃(法中) 191,000円
その他の委託料	682	生徒健康診断(尿検査・心電図検査・貧血検査) 278,685円 教職員健康診断(一般検診・胃検診) 396,000円 職員ストレスチェック 176円×40人=7,040円
借上料	1,169	AED借上 36,000円×2校=72,000円 コピー機賃借(~4月)(南中) 660円×1月×1校=660円 コピー機賃借(5月~)(南中) 11,154円×11月×1校=122,694円 コピー機賃借(7月~)(法中) 11,748円×9月×1校=105,732円 印刷機賃借(~12月) 94,050円×2校=188,100円 印刷機賃借(1月~) 165,000円×2校=330,000円 学校主事自家用車借上 16円×225km×2人=7,200円 敷地借地料(法中) 341,974円
使用料	247	NHK受信料 3台36,470円 下水道使用料 210,000円
原材料費	54	校舎修理材料
その他負担金	232	日本スポーツ振興センター負担金 248人×475円=117,800円 日本スポーツ振興センター負担金保護者負担分 248人×460円=114,080円
計	23,617	

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名	1	中学校教育振興費						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	生徒、教職員				総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成			
		意図 (対象をどうするか)	教育目標の達成に向け、毎日の教育活動や各教科・領域の年間指導計画に基づく学習活動を推進する。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	学習指導や生徒の豊かな体験活動の充実が図られ、生徒が楽しく学べる学校とする。				名称	教育基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	学習指導の充実や豊かな体験活動が、仲間づくり等に必要物品購入、各調査、講師招聘等に係る経費が必要である。教育活動に必要な物品の購入及び活用を図る。				URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減	名称					
	22,644 千円	9,314 千円	△ 13,330 千円	△ 58.9 %	URL					
【事業内容】						前年度予算比±30%以上の理由				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動を充実させるために外部講師を招聘する。 ○ 授業、指導、学校行事等に必要教材を把握し、効果的な教授活動を行うため物品の計画的な購入を行う。 ○ いじめ・不登校の未然防止・早期発見による望ましい人間関係づくりに生かすため、QUテストを実施する。 ○ 生徒理解につながる情報収集と分析のための学力調査、知能検査を行う。 ○ 生徒を対象とした芸術文化事業を委託する。(3年毎、令和8年度は実施なし) ○ 校外学習や部活動等、授業や行事で生徒を輸送するためのバスの手配を行う。 ○ 部活動に係る必要な経費(登録料・参加料・用具代等)を助成する。 ○ 1年(転入含む)のヘルメット購入を助成をする。 ○ 中国大会、全国大会派遣に係る経費を補助する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・R7は教科書改訂により教師用教科書・指導書の購入があったため。 ・部活動地域移行により部活動に係る経費の削減のため。 				
【本年度の計画】										
詳細は次ページに掲載										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額		
14-2-5-1	理科教育設備整備費補助金			178	0	7 報償費	361	420		
18-2-4-1	さくら基金繰入金			6,217	0	8 旅費	69	55		
						10 需用費	7,400	1,904		
						11 役務費	278	271		
						12 委託料	2,389	1,078		
						13 使用料及び賃借料	7,629	2,705		
						15 原材料費	167	125		
						17 備品購入費	2,043	1,416		
						18 負担金補助及び交付金	2,308	1,340		
	一般財源			16,249	9,314					
	計			22,644	9,314	計	22,644	9,314		

事業名	1	中学校教育振興費	所属名	総務・学校教育課
-----	---	----------	-----	----------

単位:千円

細節	予算額	内容
報償費	420	卒業記念品(印鑑セット・証書フォルダ) (1,265円+715円)×96人=190,080円 ブラッシング指導 5,000円×3時間=15,000円 生命に関する講演(助産師) 11,000円×3時間×2校=66,000円 生命に関する講演 15,000円×1時間×2校=30,000円 生命に関する講演(看護師) 10,000円×1時間×2校=20,000円 人権教育講演 5,000円×4人=20,000円 協同習講師 39,000円×1人×2回=78,000円
普通旅費	55	生命に関する講演講師旅費 27,800円×1人×1回=27,800円 協同学習講師旅費 13,140円×1人×2回=26,280円
消耗品費	1,744	教育事務用 788,953円 教務用 83,400円 教科用 733,238円 学校行事用 137,597円
備品修繕費	160	楽器修理 80,000円×2校=160,000円
通信運搬費	231	楽器運搬 115,500円×2校=231,000円
手数料	9	金融機関手数料
その他の保険料	31	2年職場体験保険料 83人4日分30,710円
その他の委託料	1,078	WEBQU(2回) 253人×825円=208,725円 知能検査(1年) 80人×510円=40,800円 標準学力調査(2回) 1970人×420.20円=827,794円
借上料	1,980	貸切バス借上 校外行事、部活動
使用料	725	しあわせプール使用料 555,490円 文化祭用舞台資材使用料(南中) 23,485円 問題データベース(南中) 3教科×48,389円=145,167円
原材料費	125	教科用(美術、家庭、技術、理科、特別支援)
備品購入費	1,416	(南中) 生徒用図書642,000円 フィルムコート装備 10,000円 職員図書 10,000円 (法中) 生徒用図書 734,000円 フィルムコート装備 10,000円 職員図書 10,000円
その他負担金	640	英語弁論参加負担金 3,000円×2校=6,000円 教育振興助成事業 127,000円 部活動応援金 40,000円 修学旅行引率経費(南中) 5人×14,361円=71,805円 修学旅行引率経費(法中) 7人×14,322円=100,254円 修学旅行キャンセル保障保険料 108人×1,320円=142,560円 ヘルメット購入助成 78人×1,950円=152,100円
その他の補助金	700	教育振興助成事業
計	9,314	

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名	2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(中学校)						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	生徒、教職員、町民				総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成			
		意図 (対象をどうするか)	地域学校協働活動推進員の配置等により、地域ぐるみで子どもを育む仕組みを整える。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	中学校区ごとのめざす子ども像の実現に向け、地域と学校が協働した教育活動の推進や支援を展開する。				名称	教育基本法	URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	地域住民の方々の教育活動への参画のしきみを整えるために必要である。				名称	学校教育法	URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000026
比較	前年度	551 千円	本年度	502 千円	差引	△ 49 千円	増減	△ 8.9 %	名称	
	URL									
【事業内容】									前年度予算比±30%以上の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動推進員を配置するとともに、協働活動を円滑に実施するための環境を整える。 ○ 基本的な生活習慣の確立に寄与することで生徒個々の学びの質を向上する。 (学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3) 									非該当	
【本年度の計画】										
単位:千円										
細節	予算額	内容								
報償費	453	地域学校協働活動推進員2人 230時間×1,280円=294,400円 生徒活動支援 45時間×1,000円=45,000円 学習講師謝金 18人役×5,000円=90,000円 まち未来会議講師 17人役×1,350円=22,950円								
消耗品費	22	消耗品								
燃料費	7	混合油								
通信運搬費	7	郵券								
その他の保険料	13	ボランティア保険 35人分×350円=12,250円								
計	502									
(歳入内訳 単位:千円)										
(歳出内訳 単位:千円)										
款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額				
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	361	330	7 報償費	483	453				
				10 需用費	33	29				
				11 役務費	35	20				
	一般財源	190	172							
	計	551	502	計	551	502				

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名	3	通学定期券助成事業(中学校)						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	公共交通機関により通学をする生徒とその保護者				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり			
		意図 (対象をどうするか)	生徒が安心安全に通学することで円滑な就学が行われ、保護者の負担軽減となっている。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	生徒の安心安全な通学と保護者の負担軽減を図る。				名称	南部町立小学校及び中学校の遠距離通学児童生徒通学費助成要綱		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	通学のための定期券購入に、保護者の経済的負担がないようにする必要がある。				URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/honbun/r049RG00000611.html		
比較	前年度	本年度	差引	増減		前年度予算比±30%以上の理由				
	144 千円	144 千円	0 千円	0.0 %		非該当				
<p>【事業内容】</p> <p>○公共交通機関により通学をする生徒を対象に通学定期券等を支給する。 ○町が通学定期券等を購入し、学校を通じて支給する。</p> <p>【本年度の計画】</p> <p>(南部中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふれあいバス(JTP)利用生徒見込み 5名(転入想定1名含む) @1,500円×12ヶ月×5名=90,000円 ○南さいはくふれあいバス(日本海観光)利用生徒見込み 1名 @1,500円×12ヶ月×1名=18,000円 ○発行期間 通年 <p>(法勝寺中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南さいはくふれあいバス利用生徒見込み 2名(転入想定1名含む) @1,500円×12ヶ月×2名=36,000円 ○発行期間 通年 <p>○対象集落 池野、鶴田、八金、金ヶ崎、二楨、常清、金山、入蔵、驛牛、早田、赤谷、大河内、笹畑、大木屋</p>										
(歳入内訳 単位:千円)					(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称			前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額		
						11 役務費	144	144		
	一般財源			144	144					
	計			144	144	計	144	144		

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計	
事業名	1-1	給食センター管理事業						所属名	総務・学校教育課		
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員、給食センター職員				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等				
		意図 (対象をどうするか)	給食を効率的かつ安全・安心・安定的に提供する。				名称	学校給食基本法			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	おいしく、かつ安全な給食を児童生徒に提供し、栄養の補給と併せて食育を行うため、給食センターの調理環境及び衛生環境を整える。				URL	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_jcsFiles/afafid/2013/10/17/139539_11.pdf			
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	安全・安心な給食を安定的に提供するため、年次計画にそった施設修繕、備品修繕・購入等が必要である。又、施設設備の老朽化に伴い発生する突発的な修繕対応も必要である。				名称	食育基本法			
比較	前年度	75,655	千円	本年度	71,722	千円	差引	△ 3,933	千円	増減	△ 5.2 %
	名称	前年度予算比±30%以上の理由									
【事業内容】											
○ 給食を効率的かつ安全・安心・安定的に提供する。 (平成22年度から給食調理業務等を業者に委託し、平成25年度、平成28年度、平成31年度、令和4年度、令和7年度に再契約)											
【本年度の計画】											
○ 業務委託 (R7.4月～3年間の契約) (調理業務、食材検収業務、施設・備品保守清掃管理業務、配送業務、洗浄業務)											
○ 施設、設備、車両の修繕や点検											
○ 学校給食センター運営委員会の開催											
○ 食育の推進											
○ 食物アレルギー等対応											
○ 食中毒、ノロウイルス対策											
単位:千円											
細節	予算額	センター	内容								
報償費	9		学校給食センター運営委員謝金								
消耗品費	397	会見	トレイ、仕切皿、蛇口フィルター、他								
	773	西伯	トレイ、仕切皿、ザル、他								
燃料費	951	会見	ガス、灯油								
	447	西伯	ガス								
印刷製本費	30		納付書								
光熱水費	3,682	会見	電気、上水道								
	4,231	西伯	電気、上水道								
施設修繕費	200	会見	殺菌灯交換、他								
	156	西伯	殺菌灯交換、他								
備品修繕費	266	会見	移動作業台キャスター交換、他								
	139	西伯	スライサー交換、他								
通信運搬費	192	会・西	給食センター電話代、郵送料								
手数料	826	会・西	検便検査、食材検査、換気設備点検、他								
火災保険料	79	会・西	火災保険料								
保守点検委託料	470	会・西	電気設備保守点検、消防設備保守点検								
その他委託料	27,152	会見	食材検収、調理、配送、清掃、安全衛生管理、他								
	30,928	西伯	食材検収、調理、配送、清掃、安全衛生管理、他								
使用料	350	会見	下水道								
	444	西伯	下水道								
計	71,722										
(歳入内訳 単位:千円)						(歳出内訳 単位:千円)					
款-項-目-節	科目名称	前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額					
				7 報償費	17	9					
				10 需用費	16,774	11,272					
				11 役務費	1,229	1,097					
				12 委託料	56,848	58,550					
				13 使用料及び賃借料	0	794					
				17 備品購入費	787	0					
	一般財源	75,655	71,722								
	計	75,655	71,722	計	75,655	71,722					

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計
事業名	1-2	給食材料購入事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的・成果目標・必要性	目的	対象 (誰、何に対してか)	児童生徒、教職員、給食センター職員				総合計画における位置づけ ⑧こどもが健やかに育つまちづくり			
		意図 (対象をどうするか)	栄養バランスの良い給食を提供し、児童生徒の健康に寄与するとともに食育の充実を図る。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等			
		成果目標 (本年度目指すことは何か)	安全・安心かつ栄養バランスのとれた給食を提供し、児童生徒の健康な身体づくりを目指す。 町内産・県内産・国内産食材を取り入れ、食育の教材として活用し地元へ愛着をもつ児童生徒の育成につなげる。				名称	学校給食基本法		
		本事業の必要性 (現状・成果・課題など)	安定的に安全・安心な給食を提供するとともに、町内産・県内産食材を多く取り入れた献立により、地元へ愛着をもつ児童生徒の育成を今後も進めていくために必要である。				URL	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_jcsFiles/afafdf/2013/10/17/139539_11.pdf		
比較	前年度	本年度	差引	増減	名称					
	60,372 千円	61,138 千円	766 千円	1.3 %	URL					
【事業内容】						前年度予算比±30%以上の理由				
① 給食材料を購入する。 1食あたり小学校(363円)、中学校(427円)の食材の購入 (参考)令和7年度一食単価 小学校:344円、中学校:405円						非該当				
② 南部町立小・中学校に在学している児童生徒を3人以上養育している保護者に対して在学中の第3番目以降の児童生徒に係る学校給食費を全額町負担とする。 ※令和8年度より小学校の給食費無償化が始まる予定のため、対象は中学生のみ										
【本年度の計画】										
○給食実施人数(見込み)										
		児童生徒数	教職員・給食センター職員数							
小学校		435人	75人							
中学校		257人	52人							
給食センター			21人							
① 給食材料費内訳										
		○小学校(教職員・保存食を含む)	35,025,870 円							
		○中学校(教職員・保存食を含む)	24,044,797 円							
		○給食センター(職員・保存食を含む)	1,796,850 円							
		○試食等	270,100 円							
		合計	61,137,617 円							
(歳入内訳 単位:千円)						(歳出内訳 単位:千円)				
款-項-目-節	科目名称		前年度予算額	本年度予算額	節	前年度予算額	本年度予算額			
12-2-5-1	学校給食費負担金		44,020	27,698	10 需用費	60,372	61,138			
15-2-6-1	市町村給食費負担軽減交付金		0	29,546						
	一般財源		16,352	3,894						
	計		60,372	61,138	計	60,372	61,138			